



日本小児病理研究会 会報63号

平成26年7月1日 (火)

1. ごあいさつ 総務幹事 北條 洋 (福島県立医大会津医療センター)

梅雨に入り気候不順の日々が続いておりますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。2014年、4月25日、広島で開催された日本病理学会総会の2日目の当研究会主催のコンパニオンミーティング「小児脳腫瘍の病理診断」では60名を超える多数の病理学会会員の皆様に参加頂き、大盛況のうち終了することが出来ました。これも偏にご講演賜りました群馬大学医学部附属病院病理部 平戸純子 先生と群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野 信澤 純人 先生の最新の知見を集めた内容

豊富なすばらしい講演、並びにオーガナイザーを務めた埼玉県立小児医療センター 岸本宏志先生のご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。第34回日本小児病理研究会学術集会は岡山大学医学部附属病院病理診断科 柳井広之先生のお世話で2014年9月6日(土) 岡山大学鹿田キャンパスJunko Fukutake Hallにて開催されます。主題は「小児の循環器病理」となっております。会員の皆様のご参加をお願いします。皆様とお会いできるのを楽しみにいたしております。

2. 第34回小児病理研究会学術集会

この度、下記の要領で第34回日本小児病理研究会学術集会を岡山で開催いたします。中国地方では初めての開催となります。今回は小児の循環器病理を主題として演題を募集いたしますが、その他の演題も歓迎いたします。また主題に合わせて特別講演、教育講演を企画いたしました。小児病理に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

2014年6月吉日

第34回日本小児病理研究会学術集会

世話人 柳井広之 (岡山大学病院病理診断科)

記

日時：2014年9月6日(土) 9時～15時

場所：岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall (岡山市北区鹿田町2-5-1)

参加費：3,000円

主題：小児の循環器病理

特別講演：

「心臓内幹細胞を用いた小児心疾患の解明と再生医療」

王 英正先生 (岡山大学病院新医療研究開発センター 教授)

教育講演：

「病因別にみた小児心疾患の病理」

池田善彦先生 (国立循環器病研究センター 医長)



演題お申し込み

演題名(主題か一般演題かを明記)、出題者、所属名、抄録(600字以内)をMS wordファイルまたはテキストファイル形式にて、世話人宛に電子メールでお送りください。

宛先 yanaih@md.okayama-u.ac.jp.

締め切り：8月1日(必着)

発表形式

Microsoft Office Power Point 2007/2010

(Windows), 2011(Mac)を予定しております。

*本会は日本病理学会から専門医資格更新時の生涯学習単位(参加5単位、筆頭発表2単位)が認められています。

お問い合わせ先

岡山大学病院 病理診断科 柳井広之

(電話：086-235-7754.)

e-mail : yanaih@md.okayama-u.ac.jp)

3. 2014年度日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会症例検討会（小児腫瘍症例検討会）開催のご案内

本年度の日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会症例検討会を下記の要領で開催します。例年20例程度の症例が提示されます。当日午前10時から提示症例の検鏡が可能です。

日時：2014（平成26）年9月5日（金）13:30～17:50
検討会終了後、日本小児病理研究会学術集会との合同懇親会を開催します。

会場：岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall（岡山市北区鹿田町2-5-1）

教育講演：

「小児の卵巣腫瘍」

柳井広之先生（岡山大学病院 病理診断科）

参加費：¥1,000

連絡先：〒232-8555

神奈川県立こども医療センター病理診断科

田中水緒

TEL:045-711-2351 Email: mio@zc4.so-net.ne.jp

病理学会生涯教育単位：参加5単位、筆頭発表2単位
（日本小児病理研究会とは別途認められています）

4. 地区集会のお知らせ

第72回 関西小児病理研究会

平成26年12月20日（土）

午後1時より標本閲覧

午後1時30分より口演開始

於；

大阪市立総合医療センター（大会議室）

世話人；

兵庫県立こども病院 病理診断科 吉田牧子先生

第129回 関東東海地区小児病理カンファレンス

平成26年10月10日（金）午後5時30分から

於；

国立成育医療研究センター

世話人；

国立成育医療研究センター病理診断部

中澤温子先生

*両研究会とも参加資格は特にありません。小児周産期病理に興味のある方のご参加をお待ちしております。

5. ご寄付の報告（事務局より）

日本小児病理研究会では例年、日本病理学会学術集会でコンパニオンミーティングを開催しております。コンパニオンミーティングは日本小児病理研究会会員に資する内容であると同時に、一般病理医への小児・周産期病理への理解を深めてもらうために行っております。毎年、講師の先生には大変有意義な講演をさせていただいております。このたび、日本小児病理研究会会員の先生より、コンパニオンミーティングにかかわる経費に使ってほしいと50万円のご寄付をいただきましたので報告させていただきます。総務幹事、学術担当幹事と相談し、コンパニオンミーティングで講演をさせていただく小児病理研究会非会員の先生への講師料として使わせていただくこととなりました。ご寄付いただいた先生は匿名を希望されております。この場をお借りして深謝申し上げます。

6. 事務局より

会報の発行が大変遅くなり関係の先生方にはご迷惑をおかけいたしました◇次号はこれまで通り10月下旬から11月上旬に発行し、正常のサイクルに戻すように努力いたします◇第34回小児病理研究会は岡山での開催です◇中四国地区での開催は初めてであり、会員の皆様とお会いできることを大変楽しみにしております◇奮ってのご発表、ご参加をお願いいたします。

日本小児病理研究会会報63号
平成26年7月1日発行

編集・発行 松岡健太郎

日本小児病理研究会事務局
www.jspp.info

〒157-8535

東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター

病理診断部病理診断科

TEL (03)3416-0181

FAX (03)5727-2879

E-mail

matsuoka-k@ncchd.go.jp